

第100号

良元コミュニティだより

2022年1月28日
良元コミュニティ
総務部 発行

みんなに参加 みんなでつくる まちづくり



祝！100号



「100号記念の時代 新型コロナウイルス対応と地域活動」

我々地域の活動においても、例年開催のビッグイベントは全て中止となり、打ち合わせも満足にできない等、活動がストップした状態で自粛をしてきました。長期の自粛は、再開への意欲を失わせる為、早急な対策に迫られました。対策の一つは、市役所や社協、NPO センター等のご支援を得て「オンライン会議」を取り入れて、会議体を再開することでした。対策のふたつ目は、コロナ対策を前提とした、分散型のミニイベントを企画し、意見を出し合い、開催準備することで、共通の目標としました。「良元フェスタ」と名付けられ、素晴らしい秋空の下、11月13日午前を2部に分けて、想定通り開催できました。まさに皆さんの想いが実を結んだ1日でした。山崎新市長もご参加頂き、子ども達との対話の輪が広がりました。世界各地では、また感染が拡大している傾向が見られ、この先のことは、予測がつきませんが、皆さんで知恵を出し合い、心を一つにして、活動の工夫を進めてまいりますので、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。



良元地区まちづくり協議会 会長 中 義昭

「良元コミュニティだより第100号記念号おめでとうございます」

良元コミュニティの皆様におかれましては、日ごろからより良い地域づくり、地域住民の暮らしの向上のために様々な活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

この度は、「良元コミュニティだより」第100号の発行、誠におめでとうございます。

良元コミュニティだよりは、地域住民の皆様にとって、自分の住むまちの様子やまちづくり活動を知ることができる大切なツールであり、住民の皆様の自治意識の向上に寄与しているものと存じます。平成6年の第1号発行から27年にわたる皆様のご尽力に、改めて御礼申し上げます。こうした皆様の活動の頑張りに応えられるよう、市も皆様との「対話」を大切にしながら、共に力を合わせて協働でまちづくりに取り組んでまいります。

これからも、地域の魅力が詰まった「良元コミュニティだより」を楽しみにしています。

貴会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



宝塚市長 山崎晴恵

PayPay au PAY LINE Pay 使えます

ほっこり湯

お湯も人も温かい

13時から22時まで毎日営業
マスク着用をお願いします
明るく元気な
番台募集

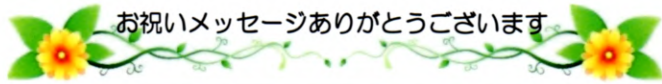
宝塚市大成町7-15 (大成郵便局裏) お問合せは番台まで
番台電話: 070-2822-4254 無料サウナ 有

地域の身近な金融機関

給与振込・年金振込
住宅・マイカーローン



JA兵庫六甲 宝塚西支店



「良元コミュニティだより第100号刊行によせて」

このたびは、良元コミュニティだより第100号の刊行おめでとうございます。

27年の年月を経て今回の記念号発行は、これまでの良元コミュニティの諸活動が地域の皆様から常に支援されている証だと思います。良元小学校としましても良元コミュニティの一員として、今後も皆様と活動を共にして参りたいと考えております。

これからも、安心・安全で人々が健康に暮らせるまちづくり、「お互いさま」

「おかげさま」といった互助の声があふれるまちづくり推進のため、良元コミュニティのなご一層のご発展を祈念いたします。



宝塚市立良元小学校長 濱路 学

「良元コミュニティだより 100号の発行おめでとうございます」
コミュニティ発足は、小学校区ごとにきめ細かく地域住民の繋がりを持つこと、宝塚市民の行政サービスへの要望を吸い上げることになりました。平成5年の発足、翌6年6月に良元コミュニティだより第1号が発刊となりました。そんな折も折、平成7年1月17日早朝にあの阪神淡路大震災が起こりました。小学校では体育館を中心に避難所が開設され、多くの被災された方々が集まってきました。また、卒業式が運動場で開かれ、それはそれで忘れがたい卒業式になったことでした。そんなことでコミュニティだよりが大いに地域の方々の貴重な情報を提供することになったのです。コミュニティの環境整備（清掃・花づくり）、福祉健康（会食・喫茶・学習会）活動が日ごろの地域住民の繋がりをもたらし、コミュニティだよりが情報を提供する。このことが災害時にはとても大切だということで、コミュニティ活動が全国に広がっていったのでした。
田路 稔
＜当時、良元小学校の教頭をされていて、「良元コミュニティだより」のタイトルは、田路先生が書いてくださいました＞

◆広報紙から見る良元コミュニティの歩み◆

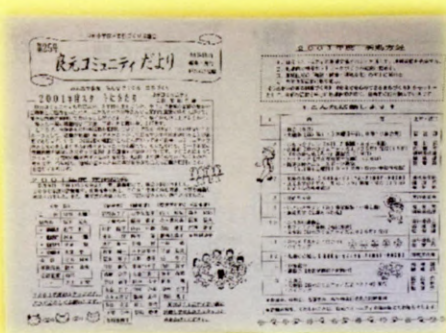


創刊号（1994年6月9日）

前年3月13日に良元コミュニティ発足総会が開催された。総会前に地域交流「もちつき大会」が実施された。環境美化、福祉健康、広報の3部会で活動していくことが承認された。1994年から良元小PTA主催「良元まつり」に参加。1995年には「花ランドまつり」が西公民館フラワーガーデンで開催され、同年に実施された「みんなでしゃべろう会」は現在の「お食事会」の始まりである。1996年コミュニティ掲示板設置。

忘れてはいけないできごと

1995年（平成7年）1月17日阪神淡路大震災発生し、多くの方が被災した。1月22日から2月6日までの5日間救援物資配布に協力。3月26日には被災者激励会実施（ぜんざい800人分）



第25号（2001年6月18日）

1998年度から福祉部・健康部・環境美化部・広報部に分かれて活動を行った。2000年から「ふれあい運動会」が良元小学校で開催、2001年から開催の「いきいきサロン」が2002年から「喫茶すみれ」となる。2005年から「花ランドまつり」は良元小学校で開催されるようになった。



第75号（2015年9月29日）

2013年から良元小4年生との「防災ウォークラリー」が実施された。2015年第72号から広告掲載を開始。74号から業者への印刷発注となり、カラーで、写真の掲載もできるようになった。2017年の81号より「まちづくり協議会ポータルサイト」に掲載開始。ホームページで情報が見られるようになった。



第50号（2009年6月1日）

65歳以上の人口率が1993年時11.3%だったのが2009年度には、21.2%と増加。2009年から小林商栄会主催「ちびっ子縁日」に参加。「ふれあい運動会」と良元小PTA主催「良元まつり」が同日開催となる。

＜直接アクセスする方法＞

直接下記のアドレスを打ち込んで頂いてもアクセスできます。

<https://takarazuka-community.jp/ryougen/>

ホームページも見ることが出来ます！

＜携帯電話からアクセスする方法＞

右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



100号記念に メッセージ

ありがとうございました！
みなさんの想いがこもっている
素敵なメッセージばかりでした！

「共に頑張りましょう。」

良元コミュニティだより第100号の発行おめでとうございます。
2022年のスタートにあたりご挨拶を申し上げます。
宝塚市第6次総合計画はスローガンとして、3つの重要なまちづくりの視点を掲げています。

視点1は、「活動・活躍できる場があるまちづくり」

視点2は、「あらゆる人の暮らしを支え、誰もが幸せに住み続けられるまちづくり」

視点3は、「活力を創出し、将来を見据えた持続可能なまちづくり」としてしています。

また、地域課題や市民ニーズに応じた市民主体のまちづくりを更に進めるため、市内20の「地域ごとのまちづくり計画」を新たに総合計画に位置付けています。

このことは、市の姿勢として評価できるものですが、計画の実現に向けて、協働を更に進めて行政と地域が情報を共有し、共に取り組んで行くことが重要となります。

地域には課題が山積しています。一つ一つ解決に向けて市民力を結集して取り組んで行きたいと思います。共に頑張りましょう。

<木本 文志さん>

「一緒にお花を植えましょう」

お花を植えて、きれいなところが増えたり、楽しく活動できてうれしいです。みなさんも一緒にお花を植えてみてはどうですか？

<SSさん>

「100号！27年の継続は力なり！すごい！」

喫茶すみれも20周年です。小林会館とくらんど人権文化センターで平成13年7月にスタートしました。月2回開店して落語あり、健康体操ありで毎回楽しく開催しています。皆さんとおしゃべりも楽しみで、そろそろカラオケもしたいなあ。20周年記念イベントもやりたいなあ。楽しい事をいっぱいできたら良いなあ。ご近所さん見に来てね。一緒に楽しみましょう。

<すみれちゃん>



「良元地区が大好きです」

平成22年の冬、仕事を退職した年に、コミュニティの活動をしている人から誘われて以来、コミュニティの一員として活動に参加しています。この地で育った私にはここが故郷であり、良元地区が大好きですし、イベントが好きで私にとって、地域活動ができて、多くの人と知り合うことができて良かったと思っています。現在まで、家族の理解と体力を保って活動できていることに感謝しています。

<古村 福子さん>



「気軽に集まる場所をたくさん作りたい」

良元コミュニティの活動を始めて、良元地区を愛する「まち友」が増え、ママ友とはまた違った刺激をいただいた。年齢差は関係なく会話は人を元気にすると思うので、気軽に集まる場所が必要です。「あそこに行けば誰かに会える」老若男女を問わず気軽に集まる場所をたくさん作りたいと思います。

<ニャースさん>



「このまちに育ててもらいました」

この地に住むようになって30年が経ちました。どんなまちなのか不安でしたが、イズミヤ駐車場でのお餅つりや、夜店を回ったり、もちつき大会でつくたてのお餅をいただいたり、子どもたちと過ごす季節のいろいろなイベントが、コミュニティ活動の一部だったと後に、自分が参加するようになって、知りました。まちでは、我が子に声をかけて下さるコミュニティの方がいらっしゃって、至らない私も含めて、育ててもらいました。感謝！感謝！です。

<イズミヤの屋上で遊んださん>



「コミュニティの先輩方はほんとにカッコいいです！」

コミュニティの活動に参加してまだ5年くらいですが、色んな事を経験し、日々学ばせていただいています。コミュニティの先輩方の、地域を少しでもよくしたい！子どもたちのために！と、どんな活動にも全力で考えて取り組む姿勢。ほんとにカッコいいです！一緒にいて元気になります！私も誰かのために何か出来る人になりたい。これからも微力ですが、頑張ります！

<環境美化部部長さん>

「地球環境を守るのはひとりひとりの意識から」

1994年、私はまだ学生であった。授業では二酸化炭素濃度が年々増えていることを学んだ。20年後、30年後の地球では温暖化が進行し、台風などが大型化、自然災害が増えることが予想されていた。そして、予想は現実となった。27年で地球環境は変化してしまった。もう、これ以上地球環境を 変化させてはならない。変化せねばならぬのは、ひとりひとりの意識の方だ。

<ウォーミング・ウォーニングさん>

「良元フェスタ」を開催！★11月13日(土)9時～12時★

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、コミュニティ活動が以前のようにできなくなり、地域の世代を越えての交流が出来ずにさみしい日々だったが、今回良元コミュニティ主催で、以前より小規模な「良元フェスタ」を開催した。開催までは、コロナ対応をどうするの？今できることは何？と協議を重ねて、今回は、対象を良元小学校児童に絞って、事前申し込み制にして一部を低学年、二部を高学年参加の形で開催することにした。初めての事ばかりで、不安はあったが、当日は、晴天の下、久々に子どもたちの笑顔がたくさん見られた。帰りには「楽しかったー！！」との声を聞いて、うれしかった。

一昨年まで開催していた「花ランドまつり」に参加して下さったPTAや小林自治会、蔵人自治会、小林商栄会、福祉事業所 SOLA、社会福祉協議会などの皆様にもご協力をいただき、ご縁をつなげることができた。

本当にありがとうございました。



消毒と検温して入場



受付



射的



スーパーボールすくい



キックターゲット



フラワーアレンジメント



メッセージボードに一言



宝塚市社会福祉協議会さん



SOLA さん



「コロナがおわったら、なにしたい？」



山崎市長との交流

編集後記

おかげさまで、多くの方々のご協力で、無事広報紙「良元コミュニティだより 100号」の発行ができました。本当にありがとうございました。

発行にあたって、昔の広報紙を読み直したり、その当時を知る方々に、お話を伺ったりしました。「コミュニティって、いったい何をしているの？」とよく聞かれますが、改めて、考える機会をいただきました。昔も今も、地域の皆さんが元気で明るくいられるまちを目指して、情熱を持って、活動をされていたことがわかりました。

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大での、つながりを遮断するような出来事もありますが、少しずつでも、人々のつながりを止めずに、活動を続けています。今後ともご一緒できる事を楽しみにしております。

どうぞよろしくお願ひいたします。(白津) 広報担当：総務部 白津 (74-0094)

セレナス 安心と信頼、家族葬なら

メモリアルホール

宝塚 **飛翔殿** 宝塚市小林5丁目 9番82号 中津浜線沿

0120-51-0042

良元コミュニティ スタッフ大募集中！！

設立から27年、地域の絆づくりのために、年間を通して、いろんな行事を行っています。若い世代も、高齢者もお互い支え合って、出来ることを見つけ、楽しく交流しませんか？

問合せ：中 (070-6924-3664)

白津 (0797-74-0094)